

えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から ⑩

今年は寅(とら)年。そにどのような関係があるの
で今日は「千人針」を紹介する。寅(虎)と千人針
千人針は日露戦争の頃に

戦場での無事祈り込め



右の丸模様が施された千人針のシャツ

広まった弾除(たまよけ)と模様である。本資料では
のお守りである。「千」には「大勢」や「たくさん」
という意味がある。通常は1枚ほどの横長い白布に、
女性が赤い糸で1人一つ玉結びを作る。女性は愛する
男性に千人針を贈って戦場での無事を祈り、兵士とな
った男性は贈られた千人針を腹に巻いて戦つた。
千人針は1人1針が原則だが特例が存在した。寅年
生まれの女性は、年齢の数だけ玉結びを作ることが
あやかったものと言われている。しかし、ほかの理由も
考えられる。千人の女性に玉結びをお願いするのは簡単ではない。早く千人針を完成させる方法として、千支(えど)の中でも強いイメージがある虎に特例を設けたのかもしれない。当時、寅年の女性は重宝されたという。では、本資料に注目してみよう。第1の特徴は下地

に鉛筆などで円周を描いたのかかもしれない。な
る。日の丸は大きくて小さくても不格好である。最
初に鉛筆などで円周を描いていたのかかもしれない。
お千人針の下には社寺の御朱印が押されている。
第2の特徴は千人針に結ばれている5銭と10銭であ
る。死線(4銭)や苦戦(9銭)を乗り越えてほしいという
願いが込められているのだ。戦時下の資料は平和の大
切さを伝えるとともに、平和とは何かということを問
いかけている。近年の新型コロナウイルス騒動を振り
返れば、健康も平和な暮らしに欠かせないことを痛感
させられる。今年は寅年だが、60年サイクルの十十二
支だと、「壬寅(みずのえど)」にあたる。それには
厳しい冬を乗り越え、新しい成長の礎になるという意味
がある。今年が穏やかで平和な一年になるとともに、
次への成長に向けたステップとなることを願いたい。

(専門学芸員・平井誠)
△随时掲載します